(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　FOLFIRI+アービタックス　療法　1サイクル 2 週

疾患名　切除不能の進行再発大腸がん

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 用量(/回) / 用量(/日) / 照射部位 / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
					1							2							3							4						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	CVCポート	ルートフラッシュ	●							●							●							●						
注射	2	グラニセトロン	点滴	30分																												
		デキサート 6.6 mg			●														●													
注射	3	デキサート 6.6 mg	点滴	30分																												
		生理食塩液 100 ml										●														●						
注射	4	生理食塩液 50 ml	点滴	15分	●							●							●							●						
注射	5	アービタックス≪初回≫ 400 mg/㎡	点滴	2時間																												
		生理食塩液 500 ml	全量500mlに調製		●							●							●							●						
		アービタックス≪2回目以降≫ 250 mg/㎡	点滴	1時間																												
		生理食塩液 250 ml	全量250mlに調製																													
注射	6	生理食塩液 100 ml	点滴	1時間																												
				2回目以降	●							●							●							●						
				30分可																												
注射	7	トポテシン 150 mg/㎡	点滴	2時間																												
		生理食塩液 250 ml			●														●													
注射	8	レボホリナート 200 mg/㎡	点滴(側管)	2時間																												
		生理食塩液 200 ml			●														●													
注射	9	5-FU 400 mg/㎡	点滴	全開																												
		生理食塩液 50 ml			●														●													
注射	10	生理食塩液 50 ml	点滴	15分	●														●													
注射	11	5-FU 2400 mg/㎡	持続注入用ポンプ	46時間																												
		生理食塩液 100 ml	全量100mlに調製		●	●	●												●	●	●											
注射	12	ヘパリンNaロックシリンジ 100 IU	CVCポート				●					●									●					●						
内服	1	半夏瀉心湯 7.5 g	1日3回食間/食前		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内服	2	ウルソ 300 mg	1日3回食後		●	●	●												●	●	●											
内服	3	プリンペラン 15 mg	1日3回食前		●	●	●												●	●	●											
内服	4	重曹 3 g	1日3回食間		●	●	●												●	●	●											
内服	5	酸化マグネシウム/マグラックス 1.2-1.8 g	1日3回食後		●	●	●												●	●	●											
内服	6	レスタミン 50 mg	アービタックス投与30-60分前		●							●							●							●						
内服	7	デカドロン 8 mg	1日1(-2)回朝(昼)食後			●	●													●	●											

特記事項

76歳以上：1段階減量を考慮（FOLFIRI）。
※UGT1A1遺伝子多型にてホモ接合体、複合ヘテロ接合体をもつ場合は、1段階以上の減量を行う（最大50%まで減量を考慮）。
※※詳細は添付文書参照
アービタックス
・至適濃度：0.83mg/ml～4mg/ml
・治療開始前、治療中、終了後に電解質(Mg、K、Ca)のモニタリングを行う。
・皮膚障害対策は「適正使用ガイド」を参照
・infusion reactionを発現することがあるため，アービタックス投与中及び投与終了後は少なくとも1時間は観察期間（バイタルサインをモニターするなど）を設けること。

減量規定

薬品名	アービタックス※※	トポテシン※	レボホリナート	5-FU（急速）	5-FU（持続）
標準投与量	250 mg/㎡	150 mg/㎡	200 mg/㎡	400 mg/㎡	2400 mg/㎡
1段階減量	200 mg/㎡	120 mg/㎡	減量なし	300 mg/㎡	2000 mg/㎡
2段階減量	150 mg/㎡	100 mg/㎡		200 mg/㎡	1600 mg/㎡
3段階減量	中止				